

第5学年 国語科指導案

～総合的な学習の時間との関連を通して～

平成21年11月13日(金)6校時

指導者 仙台市立北仙台小学校

教諭 高橋 清

指導学級 5年1組 28名

場所 5年1組 教室

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう
教材：「ニュース番組の現場から」
教材：「工夫して発信しよう」

2 単元のねらい

(1) 単元の目標

- ◎文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。
- ◎伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する。

(2) 指導目標

【関心・意欲・態度】

- ・ニュースを探して伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとする。

【書くこと】

- ・自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信している。(ア)
- ・編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理している。(イ)
- ・集めた材料を、目的に合わせて整理し、加工して伝えている。(エ)
- ・伝えたい内容を表現するのにふさわしい方法を考えている。(オ)

【読むこと】

- ・番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取っている。(イ)
- ・自分たちが番組を作るために必要な事柄を、時間の順序にしたがって段階ごとに読み取っている。(オ)

【言語事項】

- ・文章中のキーワードや重要語句について辞書を利用して意味や使い方を調べることができる。

(ウ)

3 情報モラルの指導のねらい

- a 3-1 他人や社会への影響を考えて行動する。
- b 3-1 情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する。
- c 3-1 何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない。
- e 3-1 情報の正確さを判断する方法を知る。

4 単元について

(1) 教材について

本単元は、「ニュース番組の現場から」「工夫して発信しよう」の二つの教材から成り立っている。

「ニュース番組の現場から」は、ニュース番組の特集の作り方をまとめた説明文である。時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方が分かりやすく整理されている。そのため、本教材は、ニュース番組の作り方に関する情報を得るだけでは

なく、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る文章としても適していると考え。また、「工夫して発信しよう」の学習活動のための手引きとしての役割もあると言える。

「工夫して発信しよう」は、実際に児童が取材や撮影、原稿を書くなどして番組を作り、ニュースを発信する学習である。番組作りを体験することで、受け手にとって意味のある話題をどう取り上げるか、取材のための方法にはどんなものがあるか、どういう情報が必要か、伝えたいことの中心がよく分かるようにするにはどう編集したらよいか、などを考えることで、目的に応じた情報の配列、編集等についての理解を深めることができると考える。

また、本単元は情報モラル教育とも大きく関連している。学習を通して、情報モラル指導カリキュラムにある「他人や社会への影響を考えて行動する。」「情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する。」「何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない。」「情報の正確さを判断する方法を知る。」のような態度を身に付けることができると考える。さらに、デジタル機器を使って取材や編集等の活動を体験することで、児童のICT活用の力を伸ばすこともできると考える。

(2) 児童について

「読むこと」の学習では、文章の構成（初め・中・終わり）をとらえ、要旨をつかむ読み方の学習を行ってきた。児童の多くは、初め・中・終わりの構成に目を向け、それぞれの部分に何が書いてあるかを読み取ろうとする態度が見られるようになってきている。しかし、要旨を自分なりにまとめたり、筆者の考えに対して自分の意見をもったりすることは、なかなか難しく今後も継続して指導する必要がある。

「書くこと」の学習では、自分の伝えたいことを明確にし、初め・中・終わりを意識して書く指導を行ってきた。また、児童が構成を意識した文章のイメージをもつことができるようにするために、モデル文の活用も試みてきた。この結果、伝えたいことを中心にさせ、構成を考えながら文章を書こうとする態度がだんだん見られるようになってきている。しかし、書きたいことが決まらず、なかなか書けない児童や表面的な内容で終わってしまう児童もあり、個人差が見られる。

「話すこと・聞くこと」の学習では、話し手の意図を考えながら話の内容を聞くことを意識させてきた。また、「インタビュー名人になろう」では、目的に沿って尋ねることを意識させてきた。その際、一問一答にならないよう相手の話をもとに、自分の感想を入れたりさらに質問したりすることも指導してきた。しかし、実際の児童のインタビューの様子を見ていると、「話を聞く中で本人の興味が目的とは違う方向にずれてしまう姿」「質問が一問一答で終わる姿」が見られた。

「情報モラル教育」に関しては、国語のみならず総合的な学習の時間や社会科、道徳の授業とも関連させ、「資料の出典や参考文献の表示」「複数の資料を使って調べること」「インタビューの際のルールやマナー」について、その都度指導してきた。しかし、まだすべての児童に意識化されていないのが実態である。

「総合的な学習の時間」の学習では、「チャレンジ米作り」を中心に学習してきた。これまでの学習では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を中心に探究的な学習を行ってきた。児童のパソコンやデジタル機器の操作経験は、インターネットを活用して調べたりデジタルカメラを使用して記録したりする程度である。ビデオカメラや編集ソフトの使用経験はない。また、個人差が大きく教師や友達の支援がなければ操作するのが難しい児童もいる。

(3) 指導にあたって

以上のことを踏まえ、「ニュース番組の現場から」では、読み取った内容が次の「工夫して発信しよう」の活動の手引きになるようにするために、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取ることを大切にしたい。

「工夫して発信しよう」では、なんのために番組作りをするのか目的をしっかりもたせ、相手のことを考えた番組内容を目指したい。さらに、この番組作りを通して、目的に応じた情報の配列や編集についての理解を深めたい。

また、本格的な取材、編集活動が初めてであることから、総合的な学習の時間と関連させ、「取材、番組作りに関する情報モラルの指導」「デジタル機器の操作指導」「取材活動」を行う時間を確保し、学びを確かなものにした。

「ニュース番組の現場から」での意識すること

- ・時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取るために、まず、文章全体を読み、番組制作の過程を時系列に沿いながら表にまとめる。次に、各過程における大事なこと、気をつけることを表に書き加える。
- ・まとめたことが「工夫して発信しよう」での番組作りでの手引として活用できるようにするために、模造紙に書き、掲示しておく。

「工夫して発信しよう」での意識すること

- ・相手のことを考え、伝えたいことがはっきりしている番組を作るために、「校内放送で流す番組を作ろう」と課題を設定することで、「なんのために」という目的意識や「だれに向けて」という相手意識、「何を取り上げて」という話題意識をもたせるようにする。
- ・児童が番組の話題を考えやすくするために、日常生活や学習の中で疑問に思ったことや驚いたことなどを書き留めさせておき、話題選びの参考にさせる。
- ・目的に応じた取材、撮影が行えるようにするために、あらかじめどのような構成で番組を作るのか絵コンテに書き表しておく。
- ・児童が情報モラルを意識しながら番組作りに取り組めるようにするために、教師側からの指導のみならず、児童が取材や撮影の際のルールを考える活動を取り入れる。
- ・児童の番組作りに対する興味・関心を高めるとともにデジタル機器に慣れ親しませるために、撮影や編集には、コンピュータやデジタルビデオカメラ等を使用する。

総合的な学習との関連について

本校の総合的な学習の時間は、「チャレンジ米作り」「身近な自然から地球環境を考えよう」「様々な職業を調べてみよう」の3つの柱で構成されている。どの单元でも探究的な学習を行っているため、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の活動が含まれている。

そこで、本单元では「必要な情報を取り出したり収集したりする力」(情報の収集)、「気付きや発見、自分の考えをまとめ、判断し、表現する力」(まとめ・表現)を身に付けさせるために、この2点を特化して国語科と関連させ指導する。

5 指導計画略案・学習活動

次・時	学習活動	具体的評価規準
「ニュース番組作りの現場から」(説明文)：7時間		
第一次 第1時	◎学習の見通しをもつ ・テレビのニュース番組を見た経験をもとに、その感想を発表し合う。その後、教材文の範読を聞き、感想を書いて交流する。	関：教材文の内容から、初めて知ったことや興味をもったことをノートに書いている。 [観察・発言・ノート]
第二次 第2時 第3時	◎ニュースの「特集」ができるまでの様子を読む。 ・書かれている内容を表に整理しながら読む。 ・前時の学習方法を生かし、自分の力で教材文の内容を表に整理する。	読：特集ができるまでの過程を、教材文を手がかりにしながら表にまとめている。 [ワークシート]
第4時 第5時	◎番組作りの過程で、大事な点や気をつけることを読んで理解する。 ・「特集」がどんなきっかけで作られ始めたのかを読む。	読：番組作りのそれぞれの過程で大事な点や気をつけることを正確に読み取ってまとめている。 [ワークシート、ノート]

	<ul style="list-style-type: none"> 番組作りには、それぞれの仕事を担当するスタッフの協力があることを知る。 番組作りの各過程で大事なことや気をつけることを読んでまとめる。 番組作りの努力や願いについて話し合う。 	<p>関、読：</p> <p>いい報道をするために、取材の仕方や放送原稿の書き方について学ぶことは何かを考えて読んでいる。</p> <p>[ワークシート、ノート]</p>
第6時 第7時	<ul style="list-style-type: none"> ◎校内放送で全校に知らせたい事柄を決める。 校内放送で知らせたい話題について話し合う。 分かりやすく伝えるための工夫について、意見を出し合う。 伝えたい中心や取材計画を考え、企画書を書く。 	<p>関：関心のある内容を学校全体に伝えるために、伝え方や内容を工夫しようとしている。</p> <p>[観察・発言・ノート]</p>
<p>「情報を発信しよう」：7時間 総合的な学習の時間：5時間</p>		
第三次 第8時 第9時 第10時	<ul style="list-style-type: none"> ◎校内放送の番組を作る。 情報発信までの手順を確認する。 絵コンテに構成と内容を書き表す。 	<p>書：番組構成と内容を絵コンテに書き表している。</p> <p>[ワークシート（絵コンテ）]</p>
(本時) 総合 第1時	<ul style="list-style-type: none"> 取材や撮影の際のルールや注意点を話し合う。 	<p>思：ルールやマナーについて考えている。</p> <p>[観察・発言・ノート]</p>
総合 第2時 第3時 第4時 第5時	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ機器の操作方法を知る。 企画書にしたがって、グループで協力して取材を進める。 編集ソフトの操作方法を知る。 	<p>技：ビデオ機器、編集ソフトの操作の仕方を知る。[観察]</p> <p>知：取材や撮影の際のルールやマナーを守って取材する。</p> <p>[観察]</p>
第11時 第12時 第13時	<ul style="list-style-type: none"> 編集をする。 放送原稿を書く。 グループ間で放送を聞き合い、改善する。 	<p>書：教材文から学んだ編集や発信の方法を生かし、材料を選んだり配列を考えたり、また写真や図表との関連も考えたりして、原稿を書いている。</p> <p>[観察・原稿・実際の発信]</p>
第14時	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習したことを振り返る。 放送の録音を聞き合い、感想を交流する。 学習を振り返り、目的に応じた情報の配列・編集等についての理解を深める。 	<p>関：発信者の意図したことと受信者が受け取ったことを確認しながら交流している。</p> <p>[観察]</p>

7 総合的な学習の時間として

(1) 単元の目標

- ◎取材や撮影の際のルール・マナーを守りながら取材活動ができるようにする。
- ◎表現のひとつとして映像を利用した方法があることを知り、活用できるようにする。

(2) 指導目標

【関心・意欲・態度】

- 取材や撮影に進んで取り組もうとしている。

【思考・判断】

- 取材や撮影の際のルールやマナーについて考えている。

【技能・表現】

- デジタルビデオカメラやビデオ編集用ソフトを使用し、伝えたいことを表現することができる。

【知識・理解】

- 取材や撮影の際のルールやマナーを理解している。

8 本時の指導（1／5）

(1) ねらい

取材や撮影のルール・マナーについて考えることができる。【思考・判断】

(2) 情報モラルとしてのねらい

b 3-1 情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する。

c 3-1 何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない。

(3) 準備物

教師：PC，スクリーン，プロジェクター，資料（肖像権，誤ったニュース）

児童：付せん，短冊

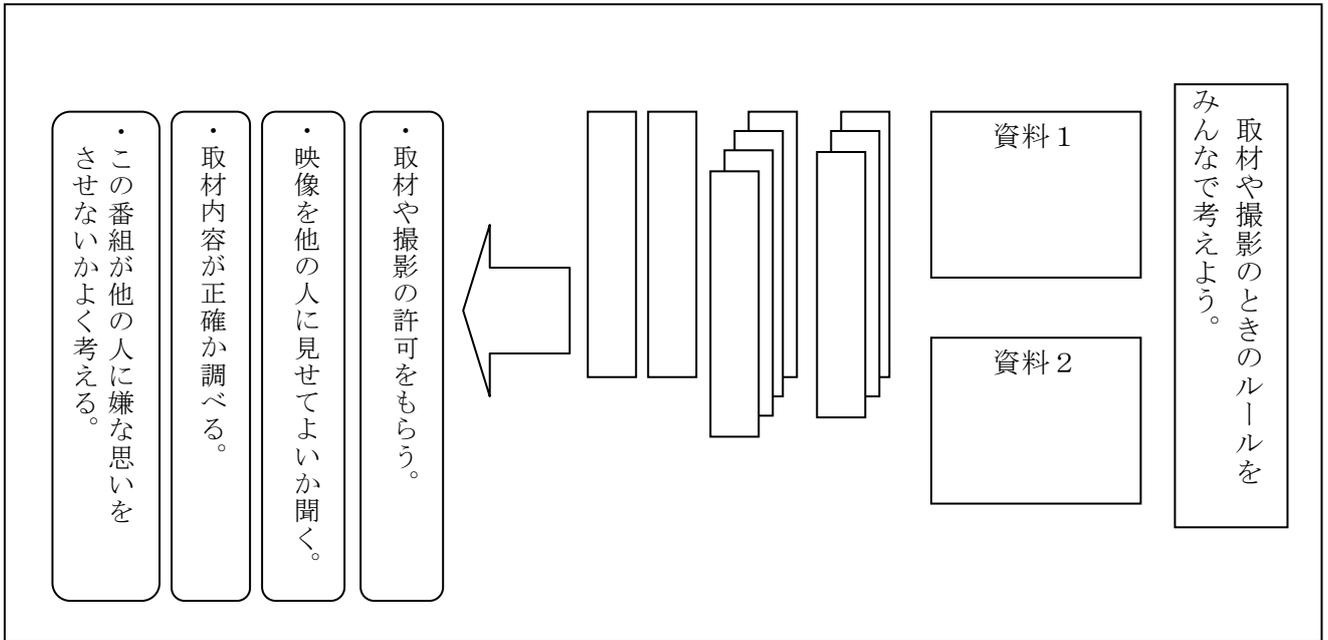
(4) 指導過程

	学習活動	主な指導・支援	具体的評価規準と方法
導 入 10	1 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">取材や撮影をするときのルールを考えよう。</div>		
	2 資料を参考に気をつけなければいけないことがあることを知る。 (b 3-1) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">資料1 肖像権 ・無断で写真を撮る ・写真が無断で公表される</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">資料2 誤った報道 ・当事者の立場 ・情報を聞いた人の立場</div>	<ul style="list-style-type: none"> どのようなことに気をつけて取材を行うべきかを気づかせるために，誤った報道，肖像権の侵害の資料を提示する。 資料1では，他人から無断で写真を撮られたり，撮られた写真が無断で公表されたりすることはいけないことであることをおさえさせる。 資料2では，誤った情報を流すと，当事者のみならず，その情報を信じた受け手側にも迷惑がかかることに気づかせ，情報の正確さの重要性についておさえさせる。 	
展 開 20	3 改めてどんなことに気をつけて取材，撮影を行うべきか取材グループごとに考える。 (c 3-1) ・自分の考えを付せんに記入。 ・グループの考えを短冊に記入。 (予想される児童の反応) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 取材や撮影の許可をもらう。 映像を他の人に見せてよいか聞く。 取材内容が正確か調べる。 この番組が他の人に嫌な思いをさせないかよく考える。 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの取材，撮影の際の問題としてとらえさせるために，グループごとに作成した絵コンテに注意することを各自付せんに書き，貼り付けさせる。 どのようなことに気をつけながら取材をすればよいか共通理解を図るために，グループの考えを整理し短冊に記入させる。 	<p>【思考・判断】</p> <p>資料をもとに取材や撮影のときに気をつけることは何かを考えている。 (観察・付せん・短冊)</p>
	ま と め 15	4 グループで話し合ったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで話し合ったことを発表させ，整理する。 抽象的な意見については，具体的な説明を求め，イメージを共有できるようにする。
	5 取材，撮影の許可の取り方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 承諾書の例文を示し，どのように許可を取るのか代表児童に模範させる。 	

(5) 本時の評価

具体的評価規準	取材や撮影の際の情報モラルを踏まえたルールやマナーについて考えることができた。
十分満足できる状況	取材や撮影の際の情報モラルを踏まえたルールやマナーについて自分なりの考えをもつことができた。
Cへの手立て	既習事項を思い出させたり（掲示物に目を向けさせる）、提示資料にどんな問題が書かれているかを尋ねたりしながら、どんなことに気をつければよいか気付かせる。

(6) 板書計画



9 資料

しょうだくしょ
承諾書

国語科の「工夫して発信しよう」という学習で、ニュース番組（特集）作りを行っています。そこで、下記を承諾^{しょうだく}していただきたくお願いいたします。

- 取材、撮影させていただいたことを、北仙台小学校の校内放送（テレビ）で全校に放送させてください。

※下記に必要事項を記入いただきますようお願いいたします。
※「承諾する」「承諾しない」のどちらかを○で囲んでください。

承諾する **承諾しない**

平成21年 月 日

名 前